高萩市農業委員の応募状況（最終公表）11月13日現在

■推薦による応募者（１１人）　　［内訳］ 個人推薦：２人　　団体推薦：９人

推薦を受けた者（候補者）											推薦者			
番号	氏名	性別	年齢	職業	認定農業者の区分	経歴	農業経営の状況				推進委員への推薦	種別	名称・氏名	代表者名	推薦の理由
							年数	面積	営農類型	主な作物					
1	柴田　義明	男	74	農業 会社員	非該当	・鈴縫工業株式会社 ・田岡建設株式会社	8	68a	水稲	水稲	無	団体	石滝常設区	石滝常設区 常設委員　梶山　義一	・石滝地内で多くの農地を耕作していた父が、平成3年10月に他界したことを受け、本格的に農業経営を開始した。また、父が農地中間管理事業を利用し集積した石滝地内の農地についても近隣に居住する親族で協力するなど中断することなく継続耕作している。今後、農業経営者として、また、事業の現場指導、農地集約集積に尽力してくれる事に期待できる。
2	鈴木　優	男	75	農業	非該当	・民生委員 ・ＪＡ常陸　高萩直売部会　部会長 ・農地利用最適化推進委員 ・(現)農業委員 ・(現)赤浜地区常設委員	21	160a	水稲 野菜	コシヒカリ トマト・キュウリ・白菜・ネギ	無	団体	赤浜常設区	赤浜常設区 常設委員　鈴木　優	・会社定年退職後、専業農家として野菜栽培等に精力的に取り組んでおり、職歴等から地域の信認を得ていて人望も厚い。 ・地域農業や農業情報に精通しており、農地の担い手への集積・集約化、新規参入の促進等地区のリーダーとして地域農業の活性化に最適者である。
3	宇野　市郎	男	66	大工 農業	非該当	・飛田住宅 ・(現)自営（宇野建築） ・(現)農地利用最適化推進委員	27	207a	水稲	水稲	無	団体	上君田常設区	上君田常設区 常設委員　佐川　克弘	・高齢による離農が増え、耕作地が放棄される昨今、積極的に地主と契約をして水田の耕作を続け、また、周囲の人望もあり、リーダーとして中心的人物となり、友人達にも耕作の面積増加を推進して地域農業の中心的な役割を果たしており地域のみならず、農業委員には最適と思われる。
4	吉川　道隆	男	59	僧侶 市議会 議員	非該当	・(現)玖臺寺住職 ・(現)高萩市議会議員 ・(現)農業委員	―	―	―	―	無	個人	我妻　康伸	―	・吉川氏は、農業委員として3年間活動し、耕作放棄地に対する危機感や問題意識が高く、農業者と話し合いをするなど、高萩市の農業についてしっかり取り組んできました。今後も、農業者の意見を聞き、自分の目で見て、高萩市の農業を守るために尽力していただけると思い、農業委員として推薦いたします。
5	沼田　充隆	男	55	農業	該当	・JA4Hクラブ会長 ・JAはまなすクラブ会長 ・JA高萩農青連会長 ・JA施設園芸若手の会　会長 ・JA常陸理事 ・(現)高萩市認定農業者等連絡協議会理事 ・(現)農業委員	35	138a	水稲 野菜	トマト	無	団体	中山間地域等直接支払制度 事業　秋山中集落	代表　棚谷　光雄	・少子高齢化問題は、農業後継者を考えると最も深刻な状況にある。このような期に推薦者は、常に地域内に目を配り農業担い手の育成をはじめ、前向きな考えを堅持していることから適任者として推薦いたします。
6	矢代　博一	男	79	農業	非該当	・農地利用最適化推進委員 ・(現)高萩市常設委員 ・(現)安良川地区農地保全管理協議会代表 ・(現)総務省　行政相談委員 ・(現)NPO法人里山文化ネットワーク理事 ・(現)農業委員	44	28a	野菜	大根、ねぎ、じゃがいも、ナス、トマト、キュウリ	無	団体	安良川地区農地保全管理 協議会	代表　矢代　博一	・当協議会の評議員会を開催し、当会の代表者である矢代博一が現農業委員として職務を遂行しており、農業に関する識見を有し、農地利用の最適化に関すること、また、常設委員として地区を取り纏める等で引き続き委員として活動できる人物であると全会一致で決定したので推薦します。
7	大森　勉	男	62	農業	該当	・常陸農業協同組合 ・(現)高萩市認定農業者等連絡協議会　会長 ・(現)農地利用最適化推進委員	42	623a	水稲 野菜	水稲、ねぎ	無	団体	高戸常設区	高戸常設区 常設補助員　井坂　武壽	・元農協職員であり、現在農業を営んでいるので農地利用及び農業に精通しています。また、地元の信頼も厚く、農地利用最適化推進委員としても精通し最も適した人物です。

推薦を受けた者（候補者）														推薦者	
8	斎藤　豊人	男	54	農業	該当	・4Hクラブ会長 ・はまなすクラブ会長 ・高萩地区青年連盟委員長 ・(現)施設園芸若手の会　会長 ・(現)茨城県農業経営士 ・(現)高萩市認定農業者等連絡協議会理事 ・(現)農業委員 ・(現)手綱地区集団転作実践委員会委員長	33	1,477a	水稲	水稲	無	団体	松岡地区資源保全会	代表　大友　勝重	・本人の経歴に示す通り各種農業に関する設立事業に参加し、会長・委員長等の役職を任され、信頼されております。 ・現在の事業規模は、水稲1,400アールを耕作の主としている。 ・以上の点から農業業務に明るく将来も期待出来、農業委員として、最適であると判断し推薦致します。
9	佐藤　仁子	女	66	農業 木材 加工業	非該当	・茨城県立農業大学校農学部農業科卒業	36	130a	水稲 野菜	水稲、野菜	無	団体	島名区	島名区 代表　田中　和彦	・被推薦者は、農業大学校を卒業後、36年の長きにわたり地域農業の現場において水稲・野菜の生産に精励されてきた、豊富な経験と確かな専門知識を有するベテラン農業者です。 ・長年の営農を通じて地域の土地柄や農業課題に精通しているだけでなく、温厚で誠実な人柄から、周囲の農業者からも厚い信頼を寄せられています。 ・現在、農業委員会において女性の登用や多様な視点からの意見集約が重視される中、同氏の持つ確かな専門性、豊富な実務経験、そして女性ならではの柔軟な視点は地域の優良農地の保全や、農地利用の集積・集約化、次世代への経営継承といった「農地利用の最適化」に大きく貢献できるものと考えます。以上の理由から、同氏を農業委員会候補者として、強く推薦いたします。
10	下山田　仁悟	男	52	農業	該当	・東京農業大学短期大学部 ・(現)株式会社誠和農場代表取締役	30	2,152a	水稲 野菜	水稲、キャベツ、ブロッコリー、切花	無	団体	秋山下地区	秋山下地区 代表　下山田　幸	・認定農業者であり、農地の高度利用や集積化を実践しており、適任である。
11	作山　吉平	男	72	農業	該当	・(現)農業委員	53	120a	水稲 花卉	花壇苗 （ペチュニア・ペンタス、日々草、ラベンダー、その他）	無	個人	作山　豊	—	・被推薦者（作山吉平）は、平成24年4月より、5期農業委員として活動中。令和9年3月に任期満了を迎える。現在の農業を取り巻く環境は年を追うごとに様変わりしつつある。高齢化、後継者不足、農地の荒廃化、様々な問題を見つめながら、6期目の農業委員として農地利用最適化推進委員とともに活動できるものとして、推薦する。

■自ら応募した者（１人）

番号	氏　　名	性別	年齢	職業	認定農業者の区分	経　　歴	農業経営の状況				推進委員への推薦	応募の理由
							年数	面積	営農類型	主な作物		
1	黒田　幸彦	男	67	無職	非該当	・日本ケミコン株式会社 ・株式会社中村自工	—	—	—	—	有	・農業者ではないが、実家は農業従事者（果樹、野菜）であった事から、農業に接しており、農業委員に適している。